

2016年6月23日

<報道関係各位>

一般社団法人日本化学工業協会

6月施行の“改正安衛法”に対応した、具体的なリスクアセスメント手法を紹介 化学物質取扱い事業者向けのリスクアセスメントセミナーを全国規模で開催

第1回を7月14日（木）、川崎市総合自治会館にて実施

一般社団法人日本化学工業協会（住所：東京都中央区、会長：石飛 修（住友化学(株) 代表取締役会長）以下、「日化協」）は、本年6月に施行された改正労働安全衛生法で事業者が義務付けられた化学物質の作業リスクアセスメント（評価）への対応を支援するため、化学物質管理の基本的な考え方や具体的なリスクアセスメント方法を紹介する『改正安衛法対応 リスクアセスメントセミナー』を全国各地で開催します。

第1回は7月14日（木）10時半から17時まで、川崎市総合自治会館（川崎市中原区）にて行います。化学物質を扱う全ての事業者が対象で定員は50名、受講料は日化協会員が4,000円、一般は7,000円となります。受講申し込みは日化協の化学物質リスク評価支援ポータルサイト「JCIA BIGDr」（<http://www.jcia-bigdr.jp/jcia-bigdr/login>）にて7月11日（月）まで受け付けます。

平成26年に改正された労働安全衛生法が本年6月より施行され、安全性データシート（SDS）の交付義務の対象である640物質について、業種、事業規模にかかわらず製造・取扱いを行う全ての事業場で、危険性・有害性に関するリスクアセスメントを実施することが義務付けられました。これに先立ち日化協では、化学業界の自主的な活動として、サプライチェーン全体を通じた化学物質のリスク評価の実施と有害性情報の共有を推し進めるべく、リスク評価支援ポータルサイト「JCIA BIGDr」を開設して、化学物質データベース検索機能やリスク評価支援ツールを提供するなど、事業者の適切な化学物質管理を支援してきました。

この度開催する『改正安衛法対応 リスクアセスメントセミナー』は、法改正により素材メーカーのみならず、対象物質を取扱うさまざまな業界が対応を迫られることを受けて開催するもので、あらゆる事業者を対象に、化学物質管理の基礎から改正安衛法で求められるリスクアセスメントの概要、日化協の提供するツールを用いたリスクアセスメント手法などを広く紹介します。日化協では7月の川崎を皮切りに、今後、仙台、東京、静岡、名古屋、大阪、広島、北九州など全国各地で本セミナーを開催する予定です。

第1回「改正安衛法対応 リスクアセスメントセミナー」概要

日 時：	2016年7月14日（木） 10：30～17：00
会 場：	川崎市総合自治会館（神奈川県川崎市中原区小杉町3-1）
内 容：	<ul style="list-style-type: none"> ■ 化学物質管理の基礎知識と改正安衛法 ■ 改正安衛法におけるリスクアセスメント概論 ■ 「危険性」のリスクアセスメント／ツール紹介 ■ 「有害性」のリスクアセスメント／ツール紹介 ■ 「有害性」リスクアセスメント支援ツールの使い方実践
対 象：	対象化学物質を製造・取り扱う全ての事業者
定 員：	50名（定員に達し次第申込を締めきります）
受 講 料：	日化協会員 4,000円/人、一般 7,000円/人
主 催：	一般社団法人日本化学工業協会
共 催：	みずほ情報総研株式会社
詳細・申込：	リスク評価支援ポータルサイト「JCIA BIGDr」を参照（7月11日（月）まで受付） URL: http://www.jcia-bigdr.jp/jcia-bigdr/login
お問い合わせ：	一般社団法人 日本化学工業協会 化学品管理部 e-mail: seminarentry@jcia-net.or.jp

《本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先》

一般社団法人日本化学工業協会 広報部 松本 TEL:03-3297-2555